

4-2-6 子育て支援施設

(1) 保育園

方向性

- 豊四季保育園については、現豊四季保育園の隣地に『移転』をし、豊四季乳児保育園と『集約化（建替）』する。なお、現豊四季保育園の建物は『除却』の上、敷地は貸主であるUR都市機構に返還する。
- 豊四季乳児保育園については、豊四季保育園に『集約化（建替）＋廃止（既存施設）』を行う。なお、既存建物については、他の施設用途に『転用』を図り、継続して建物の有効活用が図られなければ、耐用年数をもって『除却』をする。
- その他の保育園については、今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	桜台保育園 (1974)	2034	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,397.09	1,397.09	1,397.09	1,397.09
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
2	若葉保育園 (1971)	2031	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,027.88	1,027.88	1,027.88	1,027.88
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
3	あけぼの保育園 (1972)	2032	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	591.02	591.02	591.02	591.02
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
4	富勢保育園 (1998)	2058	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,199.10	1,199.10	1,199.10	1,199.10
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
5	東中新宿保育園 (1979)	2039	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,086.27	1,086.27	1,086.27	1,086.27
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
6	豊四季保育園 (1967)	2027	取組	移転+集約化(建替)+廃止(既存施設)+除却			
			延床面積 (㎡)	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
			内容	(第1期) 現豊四季保育園の隣地に、当該施設を存続施設として、豊四季乳児保育園を集約化する。既存施設については、建物は除却の上、敷地は貸主であるUR都市機構に返還する。			
7	増尾保育園 (2009)	2069	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	913.00	913.00	913.00	913.00
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
8	豊住保育園 (1974)	2034	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	981.16	981.16	981.16	981.16
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
9	土南部保育園 (1977)	2037	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	915.37	915.37	915.37	915.37
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
10	豊四季乳児保育園 (1976)	2036	取組	集約化(建替)+廃止(既存施設)+転用	除却		
			延床面積 (㎡)	983.25	983.25	0.00	0.00
			内容	(第1期) 豊四季保育園に集約化し、保育園としては廃止をする。既存建物については、他の施設用途に転用を図る。 (第3期) 継続して建物の有効活用が図られなければ、耐用年数をもって除却をする。			
11	西原保育園 (1976)	2036	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	915.33	915.33	915.33	915.33
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
12	豊町保育園 (1977)	2037	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,202.21	1,202.21	1,202.21	1,202.21
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
13	富士見保育園 (1980)	2040	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	931.16	931.16	931.16	931.16
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
14	酒井根保育園 (1979)	2039	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,786.29	1,786.29	1,786.29	1,786.29
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
15	名戸ヶ谷保育園 (1981)	2041	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,049.24	1,049.24	1,049.24	1,049.24
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
16	田中保育園 (1979)	2039	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	862.40	862.40	862.40	862.40
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
17	旭町保育園 (1979)	2039	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,036.63	1,036.63	1,036.63	1,036.63
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
18	東町保育園 (1979)	2039	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,079.03	1,079.03	1,079.03	1,079.03
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
19	高野台保育園 (1980)	2040	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,080.71	1,080.71	1,080.71	1,080.71
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
20	しこだ保育園 (1980)	2040	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,103.66	1,103.66	1,103.66	1,103.66
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
21	松葉保育園 (1983)	2043	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	1,322.72	1,322.72	1,322.72	1,322.72
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
22	高柳保育園 (1983)	2043	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	492.69	492.69	492.69	492.69
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			
23	高柳西保育園 (1998)	2058	取組	その他			
			延床面積 (㎡)	750.69	750.69	750.69	750.69
			内容	(第1期) 今後の児童数の推移や保育需要の見通しを分析し、待機児童の解消が可能となる保育量の安定的な確保を前提として、今後の公立保育園のあり方を検討する。			

(2) 幼児・児童施設（児童センター、地域子育て支援拠点、こどもルーム）

方向性

- 児童センター（地域子育て支援拠点含む）については、北部・中央・南部に各1施設、地域における子育て支援サービス提供の中心となる施設を確保する。また、3地域にそれぞれ遊戯室（近隣センター等との複合施設）を整備（確保）するとともに、施設を利用しづらい地域には中心施設が軸となって、出張型のサービスの提供も含め、遊びの機会を提供する。
- しこだ児童センター、高柳児童センターについては、中央部及び南部の単独館として、施設を『現状のまま存続』する。なお、耐用年数到達年度を目途に、利用状況や児童数、機能面に求められるニーズ等を踏まえ、『建替』や『複合化』、『主体の変更』等も含めて、今後のあり方について検討を行う。
- 青少年センターの一部（旧しましまひろば）を活用し、地域子育て支援拠点「はぐはぐひろば若柴」を『新設（複合化）』する。
- 豊四季台児童センターについては、規模の『縮小』を図り、豊四季台団地建替えに伴うUR都市機構の面整備にあわせて、新たな場所に『移転+複合化（建替）+廃止（既存施設）』を行う。なお、複合化の対象施設については、豊四季台近隣センター、図書館豊四季台分館、豊四季台老人いこいの家を想定する。ただし、新たな課題への対応など機能、規模の拡充が必要となった場合は、他の方向性を検討する。
- 永楽台児童センター、光ヶ丘遊戯室、南部みんなの広場については、親施設（近隣センター）の改修とあわせて『改修』を行い、快適で魅力ある施設に再整備をする。なお、永楽台児童センター、光ヶ丘遊戯室については、利便性の向上を図る上では面積が小さいため、改修とあわせて規模の『拡大』を図る。
- 布施遊戯室については、布施近隣センターの集約化とあわせて、『複合化（建替）』を行う。なお、利便性の向上を図る上では面積が小さいため、新たな施設内で規模の『拡大』を図る。
- 柏六小こどもルームについては、現存の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第二保育室を新たに整備し、規模の『拡大』を行う。
- 光ヶ丘小こどもルームについては、現存の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、規模を『拡大』の上、『建替』を行う。
- 田中小こどもルームについては、現存の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第二・第三保育室を新たに整備し、規模の『拡大』を行う。
- 十余二小こどもルームについては、現存の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、十余二小学校で仮設校舎を増築するタイミングで、学校施設内に『拡大（複合化）』を行う。
- 小学校区ごとのこどもルーム設置を原則として、富勢小学校敷地内に「富勢小こどもルーム」、手賀東小学校の校舎内に「手賀東小こどもルーム」を『新設』する。

- その他、入所希望児童数の増加の状況によって、現状のままで保育需要を満たすことが困難になることが想定されるこどもルームについては、学校の空きスペースの活用や民間施設の活用、学校の改修や建替えの時期にあわせた『拡大（複合化）』を検討し、今後も引続き需要が見込まれるこどもルームについては、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	しこだ児童センター (1982)	2042	取組	除却(一部)		現状のまま存続＋その他	
			延床面積 (㎡)	442.00	442.00	442.00	442.00
			内容	(第1期) ※2016年度に老朽化した倉庫を除却。 (第3期) 中央部の単独館として、施設を確保するとともに、利用状況や児童数、機能面に求められるニーズ等を踏まえ、建替えや複合化、主体の変更等も含めて、今後のあり方について検討を行う。			
2	豊四季台児童センター (1971)	2031	取組	移転＋複合化(建替)＋廃止(既存施設)＋縮小	移転＋複合化(建替)＋廃止(既存施設)＋縮小		
			延床面積 (㎡)	535.95	200.00	200.00	200.00
			内容	(第1期) 豊四季台団地建替えに伴うUR都市機構の面整備にあわせて、規模を縮小の上、豊四季台近隣センター、図書館豊四季分館、豊四季台老人いこいの家と合築し、新たな場所に再整備をする。 (第2期) ※新たな課題への対応など機能、規模の拡充が必要となった場合は、他の方向性を検討する。			
3	永楽台児童センター (1979)	2039	取組	改修＋拡大	改修＋拡大		
			延床面積 (㎡)	36.42	100.00	100.00	100.00
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、利便性の向上を目的に施設の拡大を図り、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
4	光ヶ丘遊戯室 (1981)	2041	取組	改修＋拡大	改修＋拡大		
			延床面積 (㎡)	32.00	100.00	100.00	100.00
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、利便性の向上を目的に施設の拡大を図り、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
5	高柳児童センター (1988)	2048	取組			現状のまま存続＋その他	
			延床面積 (㎡)	539.86	539.86	539.86	539.86
			内容	(第4期) 南部の単独館として、施設を確保するとともに、利用状況や児童数、機能面に求められるニーズ等を踏まえ、建替えや複合化、主体の変更等も含めて、今後のあり方について検討を行う。			
6	南部みんなの広場 (1978)	2038	取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)			
			延床面積 (㎡)	113.17	113.17	113.17	113.17
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
7	布施遊戯室 (1979)	2039	取組		複合化(建替)+拡大		
			延床面積 (㎡)	45.00	100.00	100.00	100.00
			内容	(第2期) 布施近隣センターの集約化とあわせて、利便性の向上を目的に施設の拡大を図り、新たな施設内で再整備をする。			
8	はぐはぐひろば若柴 (1988)	2048	取組	新設(複合化)			
			延床面積 (㎡)	80.00	80.00	80.00	80.00
			内容	(第1期) 青少年センターの一部(旧しましまひろば)を活用し、地域子育て支援拠点を新設する。 ※2017年11月1日オープン。			
9	柏六小こどもルーム第一保育室 (2011)	2071	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	102.57	102.57	102.57	102.57
			内容				
10	柏六小こどもルーム第二保育室 (2017)	2077	取組	拡大			
			延床面積 (㎡)	101.70	101.70	101.70	101.70
			内容	現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第二保育室を新たに整備し、規模の「拡大」を行う。 ※2017年度に新設。			
11	酒井根東小こどもルーム (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	95.30	95.30	95.30	95.30
			内容				
12	柏五小こどもルーム第一・三保育室 (2011)	2071	取組				その他
			延床面積 (㎡)	268.30	268.30	268.30	268.30
			内容	(第4期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、柏第五小学校の改修または建替えにあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。			
13	柏五小こどもルーム第二保育室 (2005)	2065	取組				その他
			延床面積 (㎡)	59.13	59.13	59.13	59.13
			内容	(第4期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、柏第五小学校の改修または建替えにあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。			
14	柏三小こどもルーム (2006)	2066	取組	拡大			
			延床面積 (㎡)	159.32	159.32	159.32	159.32
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第三・第四保育室を新たに整備し、規模の拡大を行う。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
15	柏三小こどもルーム第二保育室 (2009)	2069	取組	拡大			
			延床面積 (㎡)	73.74	73.74	73.74	73.74
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第三・第四保育室を新たに整備し、規模の拡大を行う。			
16	中原小こどもルーム (2006)	2066	取組		その他		現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	156.00	156.00	156.00	156.00
			内容	(第2期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、中原小学校の空スペースの活用を検討する。			
17	旭小こどもルーム (1992)	2052	取組				現状のまま存続＋その他
			延床面積 (㎡)	90.72	90.72	90.72	90.72
			内容	(第4期) 今後も引き続き施設の需要が見込まれるため、改修又は建替えの検討を行う。			
18	旭小こどもルーム第二保育室 (2007)	2067	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	55.82	55.82	55.82	55.82
			内容				
19	柏七小こどもルーム (1971)	2031	取組		複合化(建替)＋その他		
			延床面積 (㎡)	122.12	122.12	122.12	122.12
			内容	(第2期) 柏第七小学校の建替えにあわせて、新たな建物内に再整備をする。現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、規模の拡大について検討をする。			
20	増尾西小こどもルーム (1978)	2038	取組		現状のまま存続＋その他		
			延床面積 (㎡)	121.32	121.32	121.32	121.32
			内容	(第2期) 増尾西小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、増尾西小学校の空スペースの活用を検討する。			
21	酒井根小こどもルーム (1997)	2057	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	90.72	90.72	90.72	90.72
			内容				
22	土南部小こどもルーム (1997)	2057	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	93.24	93.24	93.24	93.24
			内容				

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
23	土南部小こどもルーム 第二保育室 (2005)	2065	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	69.32	69.32	69.32	69.32
			内容				
24	柏一小こどもルーム (2006)	2066	取組		その他		現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	172.08	172.08	172.08	172.08
			内容	(第2期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、柏第一小学校の建替えにあわせて、新たな建物内に拡充(複合化)の検討をする。			
25	藤心小こどもルーム (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	94.32	94.32	94.32	94.32
			内容				
26	柏二小こどもルーム (1999)	2059	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	92.27	92.27	92.27	92.27
			内容				
27	柏二小こどもルーム第 二保育室 (2004)	2064	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	39.83	39.83	39.83	39.83
			内容				
28	松葉二小こどもルーム (1999)	2059	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	94.32	94.32	94.32	94.32
			内容				
29	松葉二小こどもルーム 第二保育室 (2005)	2065	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	52.50	52.50	52.50	52.50
			内容				
30	光ヶ丘小こどもルーム 第一・第二保育室 (2017)	2077	取組	拡大+建替			
			延床面積 (㎡)	336.23	336.23	336.23	336.23
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、施設規模を拡大の上、建替えを行う。 ※2017年度に建替。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
31	柏四小こどもルーム (2000)	2060	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	92.28	92.28	92.28	92.28
			内容				
32	柏四小こどもルーム 第二保育室 (2011)	2071	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	60.78	60.78	60.78	60.78
			内容				
33	田中小こどもルーム (2000)	2060	取組	拡大			
			延床面積 (㎡)	425.88	425.88	425.88	425.88
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第二・第三保育室を新たに整備し、規模の拡大を行う。			
34	西原小こどもルーム (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	127.71	127.71	127.71	127.71
			内容				
35	西原小こどもルーム 第二保育室 (2005)	2065	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	76.72	76.72	76.72	76.72
			内容				
36	十余二小こどもルーム 第一保育室 (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	95.30	95.30	95.30	95.30
			内容				
37	十余二小こどもルーム 第二保育室 (2017)	2077	取組	新設(複合化)			
			延床面積 (㎡)	147.30	147.30	147.30	147.30
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、増築した十余二小学校の仮設校舎内に新設(複合化)を行う。 ※2017年度に設置。			
38	土小こどもルーム (1974)	2034	取組	現状のまま存続＋その他			
			延床面積 (㎡)	114.21	114.21	114.21	114.21
			内容	(第1期) 土小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
39	酒井根西小こどもルーム (2002)	2062	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	121.02	121.02	121.02	121.02
			内容				
40	富勢西小こどもルーム (1982)	2042	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	128.58	128.58	128.58	128.58
			内容	(第3期) 富勢西小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。			
41	高田小こどもルーム (1977)	2037	取組		現状のまま存続		
			延床面積 (㎡)	186.00	186.00	186.00	186.00
			内容	(第2期) 高田小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。			
42	柏八小こどもルーム (2004)	2064	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	120.29	120.29	120.29	120.29
			内容				
43	名戸ヶ谷小こどもルーム (1977)	2037	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	111.49	111.49	111.49	111.49
			内容	(第3期) 名戸ヶ谷小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。			
44	大津ヶ丘一小こどもルーム (2002)	2062	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	115.02	115.02	115.02	115.02
			内容				
45	大津ヶ丘二小こどもルーム (1994)	2054	取組				現状のまま存続＋その他
			延床面積 (㎡)	98.15	98.15	98.15	98.15
			内容	(第4期) 今後も引き続き施設の需要が見込まれるため、改修又は建替えの検討を行う。			
46	高柳小こどもルーム (1994)	2054	取組				現状のまま存続＋その他
			延床面積 (㎡)	115.02	115.02	115.02	115.02
			内容	(第4期) 今後も引き続き施設の需要が見込まれるため、改修又は建替えの検討を行う。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
47	高柳小こどもルーム第二保育室 (2014)	2074	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	54.65	54.65	54.65	54.65
			内容				
48	高柳西小こどもルーム (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	115.02	115.02	115.02	115.02
			内容				
49	風早北部小こどもルーム (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	106.85	106.85	106.85	106.85
			内容				
50	風早北部小こどもルーム第二保育室 (2011)	2071	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	127.71	127.71	127.71	127.71
			内容				
51	風早南部小こどもルーム (2010)	2070	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	142.15	142.15	142.15	142.15
			内容				
52	豊小こどもルーム (2005)	2065	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	163.54	163.54	163.54	163.54
			内容				
53	松葉一小こどもルーム (2006)	2066	取組	拡大			
			延床面積 (㎡)	170.00	170.00	170.00	170.00
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、第二保育室を新たに整備し、規模の拡大を行う。			
54	逆井小こどもルーム (2007)	2067	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	137.46	137.46	137.46	137.46
			内容				

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
55	花野井小こどもルーム (2008)	2068	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	167.58	167.58	167.58	167.58
			内容				
56	旭東小こどもルーム (2009)	2069	取組			その他	現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	140.43	140.43	140.43	140.43
			内容	(第3期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、旭東小学校の改修にあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。			
57	柏の葉小こどもルーム 第一・二保育室 (2011)	2071	取組	その他			現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	344.02	344.02	344.02	344.02
			内容	(第1期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、柏の葉小学校の敷地内に拡大の検討をする。			
58	手賀西小こどもルーム (1978)	2038	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	64.00	64.00	64.00	64.00
			内容	(第3期) 手賀西小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。			
59	富勢東小こどもルーム (1979)	2039	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	120.00	120.00	120.00	120.00
			内容	(第3期) 富勢東小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。			
60	田中北小こどもルーム (1977)	2037	取組		現状のまま存続＋その他		
			延床面積 (㎡)	60.00	60.00	60.00	60.00
			内容	田中北小学校の改修に伴い長寿命化。現状のまま施設を存続する。 (第2期) 現状の施設では、入所希望児童数の増加に対応することは困難であるため、田中北小学校の改修にあわせて、学校建物内に拡大(複合化)の検討をする。			
61	富勢小こどもルーム (2016)	2076	取組	新設			
			延床面積 (㎡)	292.19	292.19	292.19	292.19
			内容	(第1期) ※2016年度に設置。			
62	手賀東小こどもルーム (1986)	2046	取組	新設			
			延床面積 (㎡)	65.84	65.84	65.84	65.84
			内容	(第1期) 小学校区ごとのこどもルーム設置を原則として、手賀東小学校の校舎内にこどもルームを新設する。			

(3) 幼児・児童福祉施設（こども発達センター）

方向性

- こども発達センター，キッズルーム（ひまわり・こすもす）については，親施設である総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）とあわせて，日常的な点検や定期的な修繕に加え，計画的な保全により『現状のまま存続』する。なお，キッズルームについては，大規模な改修時期を目途に，福祉型児童発達支援センター・医療型児童発達支援センターへの民間事業者の参入動向や利用者の推移を踏まえ，『主体の変更』等について検討を進める。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	こども発達センター (2009)	2069	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	410.69	410.69	410.69	410.69
			内容				
2	キッズルームひまわり (2009)	2069	取組		その他		現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	971.72	971.72	971.72	971.72
			内容	(第2期) 福祉型児童発達支援センターへの民間事業者の参入動向や利用者の推移も視野に入れながら，主体の変更等について検討を進める。			
3	キッズルームこすもす (2009)	2069	取組		その他		現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	817.75	817.75	817.75	817.75
			内容	(第2期) 医療型児童発達支援センターへの民間事業者の参入動向や利用者の推移も視野に入れながら，主体の変更等について検討を進める。			